

テモテ
第一
③

「信仰と人格の 成熟を目指して」

テモテへの手紙第一 3章 監督と執事

アウトライン

- 0. イントロダクション
- I. 監督の資格 1～7節
- II. 執事の資格 8～13節
- III. 再訪問の願い 14～16節
- IV. まとめと適用

究極の牧者・監督者の
似姿を目指して



小アジア・現トルコ

テモテへの手紙第一とは？

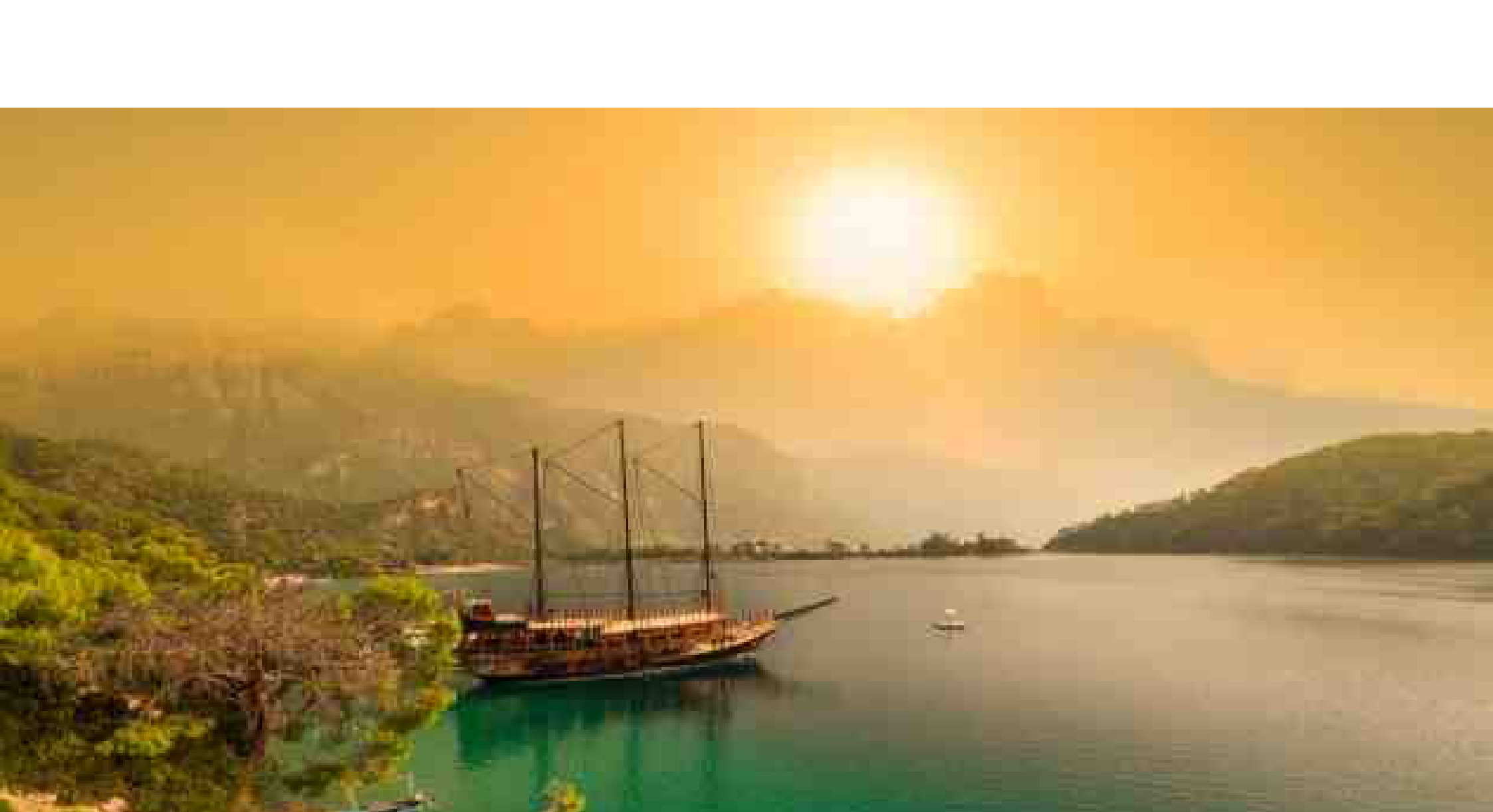
- 著者 …使徒パウロ。
- 宛先 …エペソ教会を指導中のテモテ
- 執筆時期・場所 …不明
聖書の文脈、意図に従うなら…
→ パウロが、エペソからギリシャへ
三度目のコリント訪問の旅の途中？
- 目的 …牧会書簡(テモテ、テトス)
牧会上の実践的な助言。励まし。



テモテとは？

- アジア州のリストラ出身。
- 父はギリシャ人。母はユダヤ人。
祖母ロイスと母ユニケより信仰を受け継ぐ。
幼い頃から聖書教育を受けた。
- 第二次伝道旅行のパウロと出会い、同行する。
- パウロの信頼厚く、残留したり、派遣されたり。
6つの手紙をパウロと共同執筆(コリントⅡ、
ピリピ、コロサイ、テサロニケⅠ・Ⅱ、ピレモン)





I. 監督の資格 テモテへの手紙第一 3章1～7節

小アジア・現トルコ

監督 あるべき動機 テモテ3:1

次のことばは真実です。「もしだれかが監督の職*に就きたいと思うなら、それは立派な働き*を求めることである。」

*エписコペー …監督(エписコポス)

*「すばらしい仕事(第三版)」

■あくまでも具体的な働きのための職。

→名譽職ではない!!

主のためにもっと働きたい!! と、あなたは願っているか？



監督 監督の資格 テモテ3:2~3

ですから監督は、非難されることなく、**一人の妻の夫***であり、自分を制し、**慎み深く**、**礼儀正しく**、**よくもてなし**、**教える能力***があり、**酒飲みでなく**、**乱暴でなく**、**柔和で**、**争わず**、**金銭に無欲で**、

*性的品行

*聖書を教える能力



監督 監督の家庭 テモテ3:4~5

自分の家庭をよく治め、十分な威厳をもって*子どもを従わせている人でなければなりません。

自分自身の家庭を治めることを知らない人が、どうして神の教会を世話することができますでしょうか。

*神への従順から生じる信仰的威厳

■自分の家庭をよく治めているか(=実)。

→パウロの指摘は、具体的で的確。
家族との関係はごまかせない。



監督 高慢の罫 テモテ3:6

また、信者になったばかりの人であってはいけません。高慢*になって、悪魔と同じさばきを受けることにならないようにするためです。

*悪魔の犯した罪が、高慢。

→自分が神のようになろうとした。



監督 教会外の評判 テモテ3:7

また、教会の外の人々にも*評判の良い人でなければなりません。嘲られて*、悪魔の罠に陥らないようにするためです。

*福音宣教の視点から必要

*「中傷され(新共)」

■福音宣教のために、余計なつまずきを人々に与えないことが求められる。





Ⅱ. 執事の資格

I テモテ3章～15節

小アジア・現トルコ

執事 執事の資格 テモテ3:8～9

同じように執事*たちも、品位があり、二枚舌*を使わず、大酒飲み*でなく、不正な利を求めず、きよい良心をもって、信仰の奥義*を保っている人でなければなりません。

*ディアコノス…仕える者。しもべ。

*嘘・偽善…教会を破壊する最悪のもの。

*酩酊する者は、酒が偶像になっている。

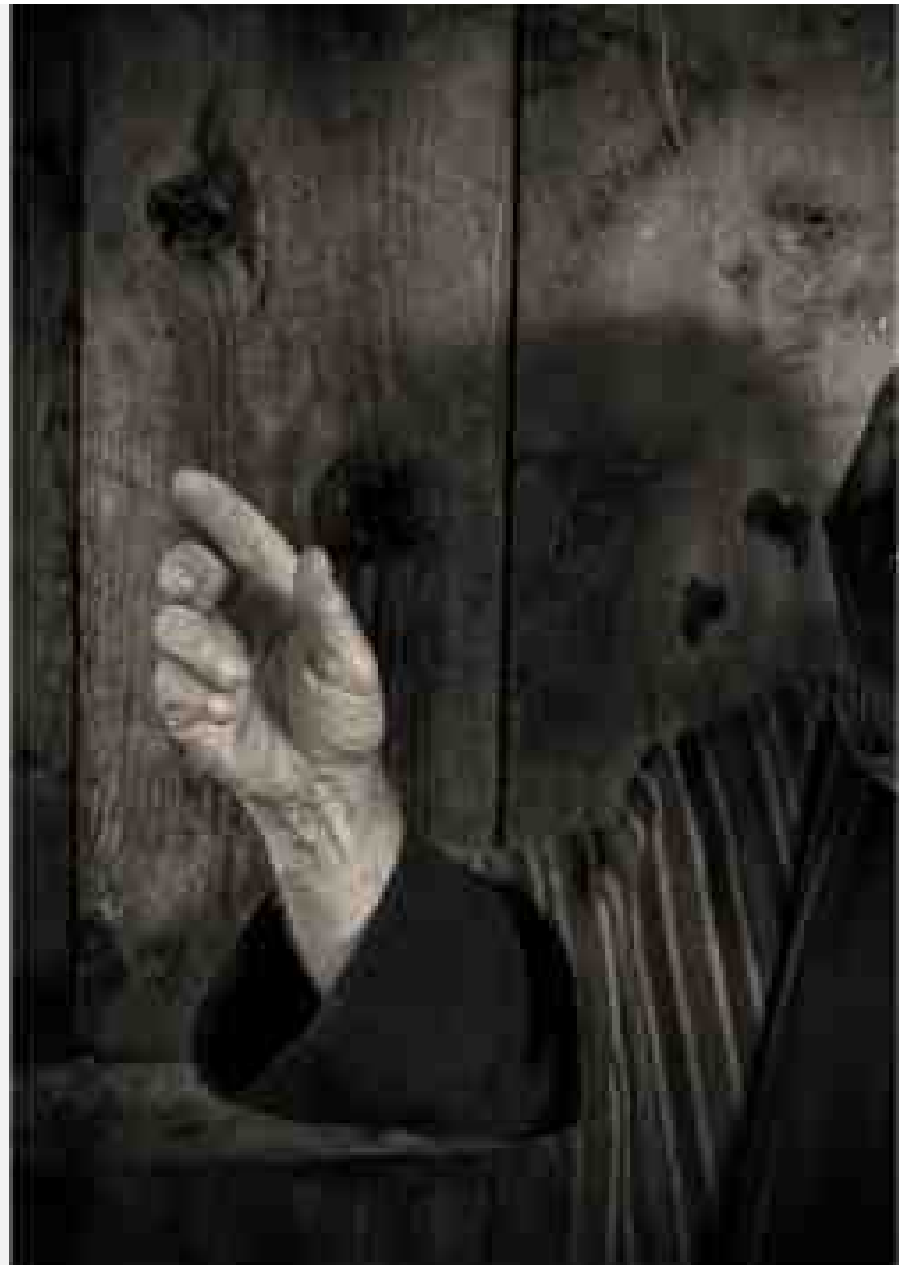
*聖霊の内住、栄化の約束…。教会時代の啓示を確信し、証ししているか？



執事 審査 テモテ3:10

この人たちも*、まず審査を受けさせなさい。そして、非難される点がなければ、執事として仕えさせなさい。

* 監督も他の監督からの審査を受けた。



執事 執事の妻 テモテ3:11

この奉仕に就く女の人* 同じように、品位があり、人を中傷する者でなく、自分を制し、すべてに忠実な人でなければなりません。

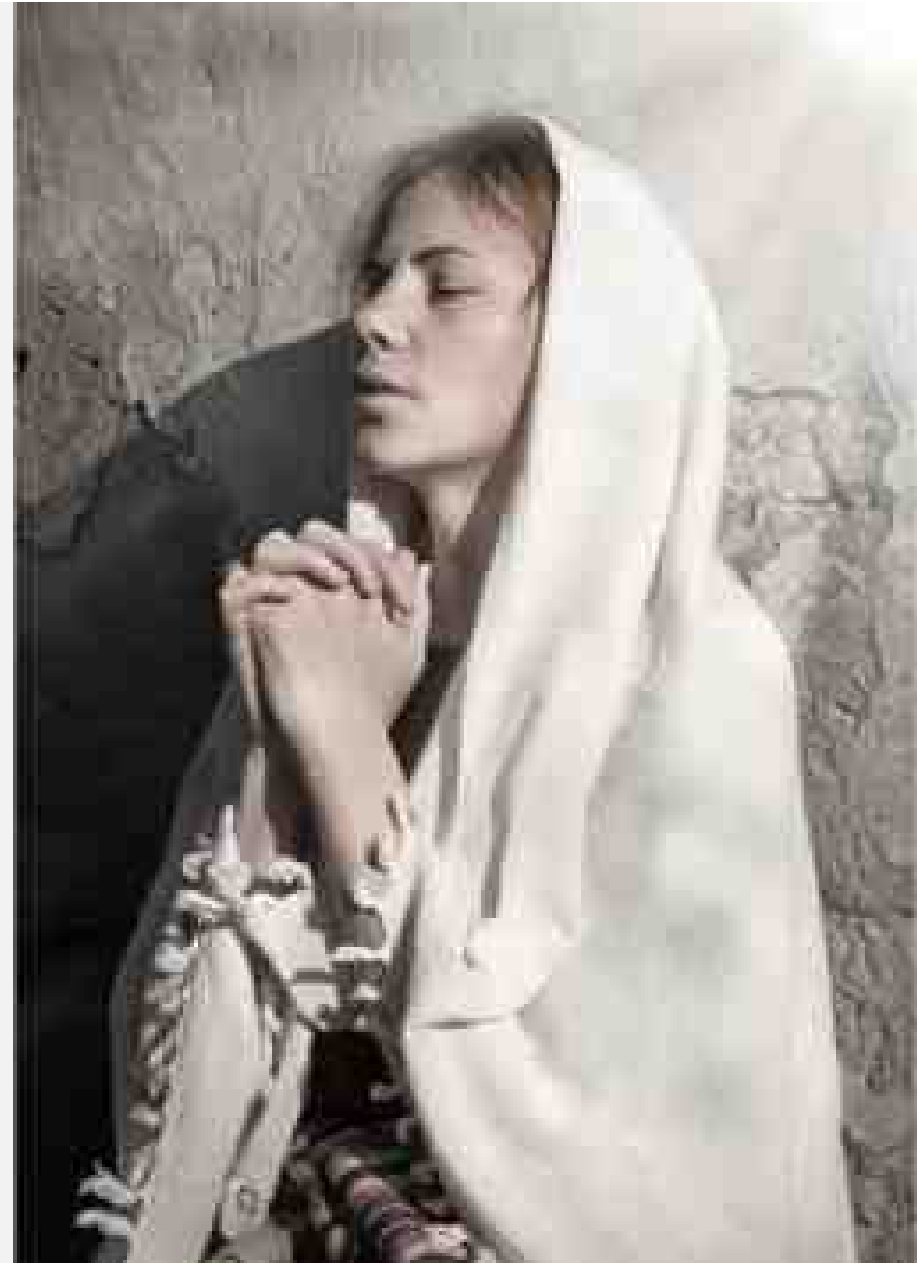
*「同様に婦人(既婚女性・妻)も」

「their wives (KIV,TEV,NIV)」

→「執事の妻」と理解するのが自然。

■ 執事の妻にも、品位が求められる。

→当然、監督の妻も同様。



執事 働きの結果 テモテ3:12~13

執事は一人の妻の夫であって、子どもと家庭をよく治める人でなければなりません。

執事として立派に仕えた人は、**良い地歩**を占め*、**また***、キリスト・イエスを信じる**信仰**について、**強い確信を持つ**ことができるのです。

*立場…「良い地位(口語,新共)」

*カイ…「and」「そして」

■求めるべきは、普遍的教会における地歩。

→ 世的な立場や評価は目的ではない。



働きの最大の実は
確信の深まり



Ⅲ. 再訪問の願い

I テモテ3章14～16節

小アジア・現トルコ

執事 パウロの願い テモテ3:14

私は、近いうちにあなたのところ*に行きたい*と思いながら、これらのことを書いています。

*テモテが牧会していたエペソだろう。

*行きたい。会いたい。

➡手紙を書きつつ、パウロが望んだ。

■パウロが常に願っていたのは、顔と顔を合わせて伝えること。



執事 神の家・神の教会 テモテ3:15

たとえ遅くなった場合でも、神の家でどのように行動すべきかを、あなたに知っておいてもらうためです。神の家とは、真理の柱と土台である、生ける神の教会のことです。

＊普遍的教会。…地域教会は似姿たるべき。

■ リーダーである信仰者に求められるのは、真実であること。誠実であること。

➔ 真理に立つための大前提!!

■ いかにかに主の真理に立ち、偽善を退けるか。

➔ 地域教会の存在がかかっている。



執事 経験の奥義 テモテ3:16

だれもが認めるように、この敬虔の奥義*は偉大です。「キリストは肉において現れ、霊において義とされ、御使いたちに見られ、諸国の民の間で宣べ伝えられ、世界中で信じられ、栄光のうちに上げられた。」

*キリストにおいて啓示された真理

■ 受肉された子なる神が、十字架の死による贖い、復活による勝利を成し遂げ、栄光の姿で天に昇られた。

→ 異邦人世界まで福音が告げられている。



IV. まとめと適用 究極の牧者・監督者の似姿を目指して



小アジア・現トルコ

「監督」とは？

- 「監督(エписコポス)」、「監督の職(エписコペー)」 …数回のみ
「長老(プレスビュテロス)」との区別は、明確でない。同じ。
→ 監督…職責の内容。長老…職責の呼称。
- エペソの長老たちに、監督の職責を確認(使徒20:28)。
「自分自身と群れの全体に気を配りなさい」
→ 究極の監督は、イエス・キリスト(1ペテ2:25)
- 監督の務めは、神の教会を牧すること(1テモ3:15)
「牧者/牧師(ポイマノス・pastor)」も同じ。

「長老(監督・牧師)」の使命

■長老(監督・牧師)の使命 使徒20:28

「**あなたがた(長老)**は自分自身と群れの全体に気を配りなさい。神がご自分の血をもって買い取られた神の教会を**牧させる**ために、聖霊はあなたがたを群れの**監督**にお立てになったのです。」

■長老の役割

- ①長老として統治し、
- ②監督として監督し、
- ③牧師として羊を牧し、養う。

■二種類の長老

- ①管理的役割を担う長老
- ②御言葉を教える長老

「長老(監督・牧師)」の資格・任命

■長老の資格 | テモテ3:2~4

「非難されるところがなく、一人の妻の夫であり、自分を制し、慎み深く、礼儀正しく、よくもてなし、教える能力があり、酒飲みでなく、乱暴でなく、柔和で、争わず、金銭に無欲で、自分の家庭をよく治め、十分な威厳をもって子どもを従わせている人」

■長老の任命 …長老たちの吟味を受け、長老たちによって任命。

「執事」とは？

■ 「執事(ディアコノス)」 …仕える者、しもべ、とも。(文脈で理解)

- ① 執事は、教会運営に関する**決定権は持たない**。
- ② 長老が御言葉の解き明かしに専念できるように**援助**(使徒6:1～6)
- ③ 教会の愛の業、人々への**奉仕**に責任を担う。…病人訪問等も。
- ④ 権威は、**付与されていない**。

■ 資格は、長老に準ずる。…信仰の成熟、人格、評判、家庭を治める。

■ 長老たちが任命する。

「羊」の役割と使命

■ 指導者への服従

「…ご存じのとおり、ステファナの一家はアカイアの初穂であり、聖徒たちのために熱心に奉仕してくれました。

あなたがたも、このような人たちに、また、ともに働き、労苦しているすべての人たちに**従いなさい**。 | コリ16:15~16 |

「同じように、若い人(霊的若さ)たちよ、長老たちに**従いなさい**。みな互いに謙遜を身に着けなさい。 | ペテ5:5 |

「羊」の役割と使命

■ 指導者への服従

「あなたがたの指導者たちの言うことを聞き、また**服従しなさい**。この人たちは神に申し開きをする者として、あなたがたのたましいのために見張りをしているのです。ですから、この人たちが喜んでそのことをし、嘆きながらすることにならないようにしなさい。そうでないと、あなたがたの益にはならないからです。ヘブル13:17」

■ 牧者は羊を愛する。羊は牧者に従う。→愛の関係は一方的
牧者に問題がある場合は？ →**従うこと**が何より道を拓く術になる。

■ 究極の牧者である主イエスに徹底して**従うこと**が、すべての土台。

★ すべてのクリスチャンに求められている成長 ★

- 長老、執事の職責を与えられた兄弟を覚え、祈り、支えよう。
- **信仰の成熟**は、すべてのクリスチャンに求められた課題。
キリストの似姿である一人一人のクリスチャンもまた、
長老、執事同様の人格を目指すべき。
- 生ける神の家と呼べる地域教会は、長老、執事、一人一人が、
個々に成長し、互いに支え合っていくなかで、健全に育まれる。
→長老、執事が未熟なら、信徒たちも、教会そのものが未熟。

究極の監督者を覚えよう

■ペテロの手紙第一2:24~25

キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。

あなたがたは羊のようにさまよっていた。しかし今や、自分のたましいの**牧者**であり**監督者**である方のもとに帰った。

主のみ顔を仰ぎつつ、キリストの似姿に変えられていこう!!

「天のお父さま。わたしは、み子イエス・キリストが、

①わたしの^{つみ あがな}罪を贖うために^{じゅうじか し}十字架で死に、

②墓に^{はか ほうむ}葬られ、

③三日目に^{みっかめ ふっかつ}復活した^{しん}こと、を信じます。

^{しゅ わたし えいえん ぼくしゃ}主が私の永遠の牧者となってくださり、

^{わたし ひび みちび ちょうろう しつじ た}私の日々を導くために、長老、執事を立ててくださいました。

^{わたし ぞんけい しゅ た しどうしゃ したが}私は尊敬をもって、主の立てられた指導者に従います。

^{わたしじしん にすがた せいちょう}私自身もまた、キリストの似姿として成長していけますように。

^{しゅ しんらい したが つか もの}ますます主にのみ信賴し、従い、遣わされる者としてください。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」